

菱環鈕 ⅡⅢ式 4区袈裟禪文

「菱環鈕 ⅡⅢ式」 4区袈裟禪文 2鐸

※正面観で確認できる身の反りがあり、緒の幅が広く

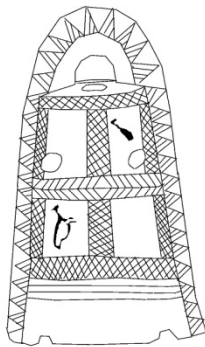
緒の上端幅が、菱環部のうち緒より内側の部分の幅に近くなったもの

○岐阜県 十六鐸

○島根県 荒神谷4号鐸

☆岐阜県大垣市十六町 岐阜県博物館蔵

菱環鈕 ⅡⅢ式 4区袈裟禪文 高さ 25.7cm



観察想像スケッチ

4区袈裟禪文

第二横帯が有軸の綾杉文

鈕と緒が繋がるような鋸齒文

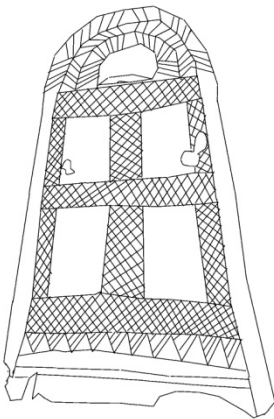
下界線3条

第三横帯と下界線までの空間に文様があったかも

絵画銅鐸

☆島根県簸川郡斐川町神庭（西谷 荒神谷）文化庁・島根県立古代出雲歴史博物館蔵

菱環鈕 ⅡⅢ式 4区袈裟禪文 高さ 23.8cm



観察想像スケッチ

鈕部分 3帯で綾杉文をなす 井向2号鐸と近似

下界線3条

下辺横帯 下向鋸齒文

このあたり 鈕が菱環鈕でなければ

身の文様などからは 外縁付鈕と変わらない気がする

さらに 綾杉文・鋸齒文・斜格子文など斜線文の派生

こののちの流水文という文様は 物凄く画期的なのだと実感しています